

社長メッセージ

2023年8月21日（月）

■「地方創生・まちづくり」

皆様、おはようございます。

先週、先々週と連続して、大型の台風が日本列島を襲いましたが、皆様、ご無事だったでしょうか？先週の台風7号は、大阪と鳥取を直撃しました。鳥取では川が氾濫する等々の大きな被害が出ましたので、鳥取カントリー倶楽部の心配を致しましたが、全く問題はありませんでした。皆様、ご心配をおかけ致しました。ありがとうございます。現在、通常通りの営業が来ております。

さて、先週は、鹿児島と宮崎の県境あたり（霧島山麓／霧島、都城）に出張致しました。地方創生・まちづくりのための視察です。鹿児島空港に到着すると、真夏の太陽の光を浴びて、気温35度を超えていました。しかし、霧島山麓に行くと、気温28度で、とても過ごしやすく、驚きました。南九州は「暑い！」というイメージだったのですが、2日間の滞在時は、ずっと涼しく、「九州の軽井沢」と評しても良いなと思っておりました。この霧島地域には、天孫降臨伝説の霊峰・霧島山脈をはじめとして、霧島神宮、霧島温泉といった魅力的な場所があり、宮崎地鶏、薩摩黒豚等の美味しい肉の産地でもあり、とても素晴らしいところでした。地元の様々な業種（酪農家、大根農場主、地元産木材を活用されている木材建築家、観光乗馬牧場主、等々）の方々と意見交換、情報交換をさせて頂きました。地方創生・まちづくりで最も重要なポイントは、その地域に、リーダーシップを取って頂ける方がいらっしゃるかどうかだと思っておりますが、この霧島地域には、30代・40代の若きリーダーたちがおり、とても楽しい地域だと感じました。この2日間、お世話になった霧島地域の皆様、ありがとうございます。この場をお借りして、御礼申し上げます。

地方創生・まちづくりには、2つのことが必要だと考えています。1つは、その地域の良さを、その地域の方々と改めて確認して（その地域の方々には日常当たり前だと感じているが、実は、他の地域の方々にとっては、凄く魅力に感じることの再発見）、その地域の魅力としての商品化を行うこと（観光産業化を行うこと）、もう一つは、その地域の産業の特徴を改めて確認して、DX等の切り口を使って、その産業の活性化を行うこと（産業活性化を行うこと）、の2つです。霧島地域は、この2つのことが既に確認されていて、若きリーダーたちがいますので、更にとっても魅力的な地域になることを確信しました。当社の事業展開のテーマとして「地方創生」を挙げていますが、この霧島地域には、そのテーマに基づいた活動を行っていきたいと思います。特に産業活性化については、SUN Digital Transformation の活躍できる場が、ココにもあると確信を致しました。

お盆も明けて、今期の後半戦が始まります。皆様、笑顔で元気に頑張ってください！
今週も何卒よろしく願い申し上げます。

代表取締役社長 前田 健晴



